

东亚学院季报

発行 財団法人霞山会 東亜学院

〒107-0052

東京都港区赤坂二丁目17番47号

TEL: 03-5575-6303

FAX: 03-5575-6309

E-mail: toagakuin@kazankai.org



19
2011年冬号



东亚学院 冬季日程表

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
12月/11	12	13	14	15	16	17 無料体験 模擬レッスン
18	19	20	21	22 冬至	23 天皇誕生日	24 土曜講座終了 平安夜
25 圣诞节	26	27	28 →冬休み	29	30	31
1月/1 元日	2	3	4	5	6	7 冬休み←
8	9 成人の日	10 常設講座 順次再開	11	12	13	14 土曜講座開講 文法道場
15	16	17	18	19	20	21 初心者トライアル
22 除夕	23 春节	24	25	26	27	28
29	30	31	2月/1	2	3	4 立春
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日 文法道場
12	13	14	15	16	17	18 初心者トライアル
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	3月/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10 文法道場
11	12	13	14	15	16	17 初心者トライアル
18	19	20 春分の日	21	22	23	24
25 第76回中検	26	27	28	29	30	31 土曜講座終了



最新消息

- ① 1月期の土曜講座は1/14に開講します。継続の方はお早めに3F受付にてお申込・ご相談下さい。
- ② 土曜講座の無料体験模擬レッスンは12/17にあります。
- ③ 12/28(水)～1/7(土)は冬休みです。
- ④ 常設講座は1/10(火)より順次再開します。
- ⑤ 毎月第2土曜日は西井先生の文法道場です。次回は1/14, テーマはHPにて発表します。
- ⑥ 毎月第3土曜日は初心者トライアル・コースです。中国語を学びたいお友達にぜひお薦め下さい。
- ⑦ 3/25(日)第76回中国語検定試験が行われます。
- ⑧ おもしろ中国語クイズ12月号がHPにアップされました。ぜひチャレンジしてみてください。

■「最新消息」に関するお問い合わせは3F受付へどうぞ！東亜学院のHPでもチェックできます。



傻瓜通讯

19

Shǎguā tōngxùn

英国人宣教師が「神様の祝福がめっきりありますように」「信仰はめっきり大事です」などと言うので、お説教の間じゅう笑いを堪えるのが大変だった…と教会で聞いたことがあります。副詞「めっきり」は顕著な変化にしか使えませんよね。

程度副詞“挺”tǐngは，“很”hěnと同程度と思っはいませんか。正解：“很”より低く，“なかなか”ぐらいでしょうか。北京にいた頃、友人の父上にご馳走になって



“挺好吃 hǎochī” (←「とてもおいしい」のつもり) と言っていたら、友人に「褒めたことにならない」と注意されました。この友人とはその後日本で10年同居しましたが(例の“姐”jiěです)，“姐”もうちの母の手料理を「結構おいしい」と言って、私にたしなめられました。副詞はなかなか難しいです。そして間違いを直してくれる友人は大事です。(中国語学校副教頭 落合理子)



听琴

田芳 Tián Fāng

起先它是试探着的，像一个人过河，怯怯地伸伸脚。而后它的胆子大了些，有点类似阳光的东西加了进来，听的人松了口气，现在不用去捕捉了。

它开始趋向平稳，总在一个旋律上回环——泉水打在岩石上：叮咚、叮咚，闷在岩洞里的声音，好像永远都不会变。

有什么坎坷出现？曲调一低，然后是静静的呜咽，在暗夜里无边无际地蔓延。

现在它愤怒了，所有的琴弦都在颤抖，向上的音调铮铮冲开层层封锁，不顾一切地奔向无人之境。

尖锐的高音向面前的一切呐喊，血流奔涌，大江拍岸，风萧萧兮易水寒。

短暂的停顿，千万种幻想填满这瞬间的空白，听，轰然的爆响，心胸悚然一惊，陈年的旧痂纷纷落下。

琴弦，在这一刻断掉了。

(田芳先生 6か月速成・土曜日・夜間講座担当)

怀念家乡的自行车

刘云霞 Liú Yúnxia

每天早上站在拥挤的电车里，都会不禁想起家乡那种环保的自行车生活。

我的家乡在中国内蒙古的呼和浩特市。那是一个不大不小的城市，作为内蒙古自治区的首府城市有着它应有的热闹和繁华。如果说它的特征的话，也是长大出远门后才意识到的，就是：城市里的自行车风景线。生活在呼和浩特的人，出行的首选交通工具就是自行车了。马路也全部都是在机动车道和行人道的中间有一条宽宽的自行车道。每天的上下班时间，最拥挤的也是自行车道。那个时候如果你想从路的这一头骑到另一头，面对眼前的那股蜂拥般的自行车流，只能是感叹它的壮观，却妄想轻易穿越了。就是那样每天穿梭于拥挤的自行车道中，在那个城市里度过了我的整个青春时代。不过，那时候，尤其是在调皮的中学时代，有时会 and 几个要好的伙伴一起，骑车时故意相互拉拉扯扯，让周围的车友们不情愿地给我们让出一条绿色通道。成功后，几个人会窃喜上好许。

大学毕业刚来东京的时候，为这里没有宽敞的自行车道，甚至于好多都没有自行车道的道路，好是不适应。不过，很快就习惯了这里发达的电车交通。就像日本的中学教材里讲道的那样，有发明就会有需求，让生活里的便利、快捷去取代过去的不便和迟缓似乎是一件轻而易举的事。骑自行车上学也只能是我一个永久美好的怀念吧。

笔者摄：呼和浩特市的道路风景一角→

(劉雲霞先生 出張レッスン担当)



中国体验记

蚊と方言

大井 徹雄

11月8日。@瀋陽。間もなくこちらは、殺戮的な寒さを誇る悪名高き東北地方の冬を迎えようとしています。街の至る所で吐き捨てられた痰が凍りつき、時には自身の痰で滑って転倒する事態が起こり得る季節の到来です。そして、ふと振り返れば蘇る、目頭熱き東亜学院での日々(※良い意味で)。もう、1年も経つのですね。今頃は、朗読大会の課題文「蚊とライオン」を念仏のように唱えている頃でしょうか。当時は、その使用頻度の低さを想像し、「え…蚊？」と小馬鹿にしたものです。しかしながら何を隠そう、瀋陽初日、私の寝床に大群で襲来したのがこの蚊でした。“来蚊子啦！！”西井先生は当時、「役に立たない単語なんて無いんですよ。食欲に覚えてください。」とおっしゃっていました。中国渡航後間もなく、私の脳裏には西井先生の不敵な笑みがふっと浮上して来たというわけです。ところでこの初日、宿の管理人さんとおしゃべりをしたのですが、この方、鼻毛ぼうぼうの顔でニコニコしながら、バリバリの方言を操られます。聞き取れる割合は3%程度。私は「あっはは！！“対対！”などと笑って彼の肩を叩きながら部屋へと戻りました。即刻帰国しようかと思った一瞬でした。街中の人言葉も同様。耳を信じるならば、“知道了”が zī dào le に聞こえることなどもあり、方言には本当に苦労しています。しかし、ご安心ください。こちらが話す標準語は、驚くほどに通じます。これぞ東亜の賜物。未だかつて発音でいちやもんをつけられたことはありません。受講生の皆さんは、どうか自信を持ち、教師陣を信頼して、学習に励んでください。本当は文化など他の面についてもお伝えしたいところですが、その彩り豊かさについては言わずもがなでしょう。後は、現地で自ら体験していただくしかありません。皆さんの中国語習得と中国体験の幸運をお祈りし、この体験記を終わりにしたいと思います。谢谢！注：上記の zi は、zhi ではありません。私の耳には zi に聞こえました。

※富山県のHPに体験記を掲載しています。『遼寧省だより』で検索してください。

(大井徹雄さん 2010年10月～2011年3月 第66期6か月速成講座受講 富山県庁)



■ご自分の中国での体験を皆さんと共有してみませんか。奮ってのご投稿をお待ちしています。

